

Empowered by Innovation

NEC

# 環境経営報告書2005 Sustainability Report 2005



私たちはご提案します。

Best Partner Financial Services

NECリース

# リースは循環型産業。

「物を所有」することが大変な時代です。

21世紀を迎え、半導体技術によるIT化で、社会システムは、世界規模で急速に変わり続けています。一方、資源枯渇、地球温暖化、生態系破壊の進行により、あらゆる事業活動が、環境負荷の低減を求められています。

物ではなく、「機能を所有」していただくことのご提案。そして、使用済み製品の100%回収と3R。NECリースは、私たちの事業活動そのものが、持続可能な社会へ向けた、重要な役割を担うと考えています。

## 「買う」より「借りる」。

NECリースは、リース事業を通じて、お客様と共に循環型社会を実現していきます。

### C O N T E N T S

#### NECリースの環境経営

環境経営の考え方 ..... 2

#### NECリースの事業活動

買い取り物件のリース化 ..... 3

3Rシステムの構築 ..... 4

ファイナンスとエコビジネス ..... 5

業務の効率化 ..... 6

#### 環境マネジメントシステム

環境方針 ..... 7

推進体制/監査と教育 ..... 8

実績と2005年度目標 ..... 9

環境会計 ..... 10

トップコミットメント/会社概要 ..... 11

#### 表紙について

表紙の写真は、NECリフレッシュPC事業として、NECパーソナルプロダクツが、NECリースのリース満了品から再生利用している中古パソコンです。また、この事業の一環として、使用済みパソコン買い取り1台につき1本の植林活動を、オーストラリアで展開しています。

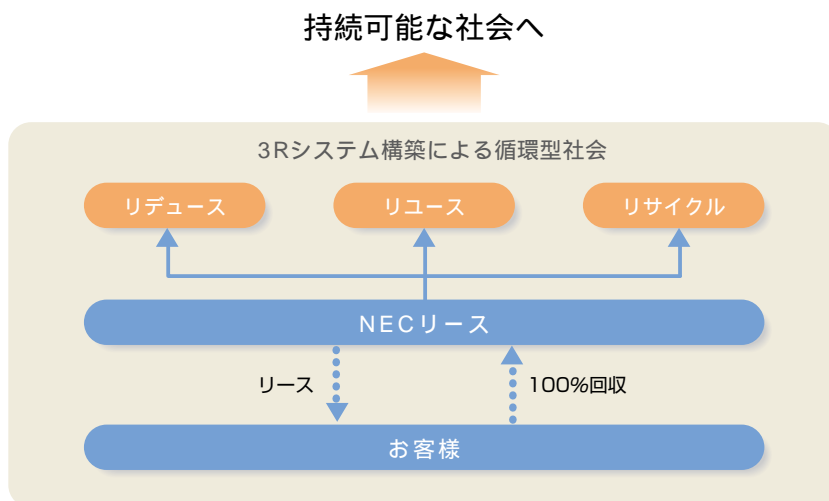


再生利用の中古パソコンには「NECリフレッシュPC」シールを貼付

# リース事業が、なぜ「循環型」なのですか？

リース物件の所有権はリース会社にあります。NECリースはメーカー系リース会社のメリットを活かし、リース後の使用済み製品を、NECグループの3Rシステムで処理し、リデュース、リユース、リサイクルにつなげています。これにより、お客様の処理義務とメーカーの回収義務を同時にクリアし、さらに不法投棄の原因も解決しています。

NECリースの事業活動概念図



## TOPICS

### 環境経営大賞受賞と環境経営ランクトップ評価

NECリースの環境経営は、新たな価値創造という側面で様々な外部評価や表彰を受けています。2004年3月、第2回日本環境経営大賞「環境経営優秀賞」をNECグループ内で初めて受賞しました。また2004年9月には、日本政策投資銀行の環境配慮経営促進事業で最高ランクに格付けされ、50億円の融資を受けています。



第2回日本環境経営大賞「環境経営優秀賞」トロフィー

### NECリースに寄せて

### 環境経営の先駆者に期待しています

リース事業者の環境への取り組み、とりわけリースを活用した環境に優しい製品の普及促進、リース満了品の適正処理は、我が国が脱温暖化社会、循環型社会の実現を目指す上で、高い潜在力を備えているといえます。NECリースの取り組みは、環境経営の進むべき方向を明確に示すものであり、「モノの所有」から「機能の利用」へと移行する社会の先駆者として、大いに期待しています。



日本政策投資銀行  
政策企画部長  
前田 正尚

# 買わずにリースするとどんなメリットがあるのですか？

「物を所有する」ということ、それ自体の価値に惑わされていませんか。コンピュータやプリンターといったオフィス機器は、常に現在進行形でシステムアップを繰り返しています。最新のシステム環境を必要とする業務の場合、その都度買い替えることは、ビジネス上の大きなデメリットです。

私たちNECリースは、「物」それ自体ではなく、その「機能」を所有することをご提案しています。効率的な資金運用、コスト把握の容易性、所有にともなう事務の省力化、減税、金利変動リスクへの対応など、買い取りをリースに切り替えることで、ビジネス効率は大幅にアップします。

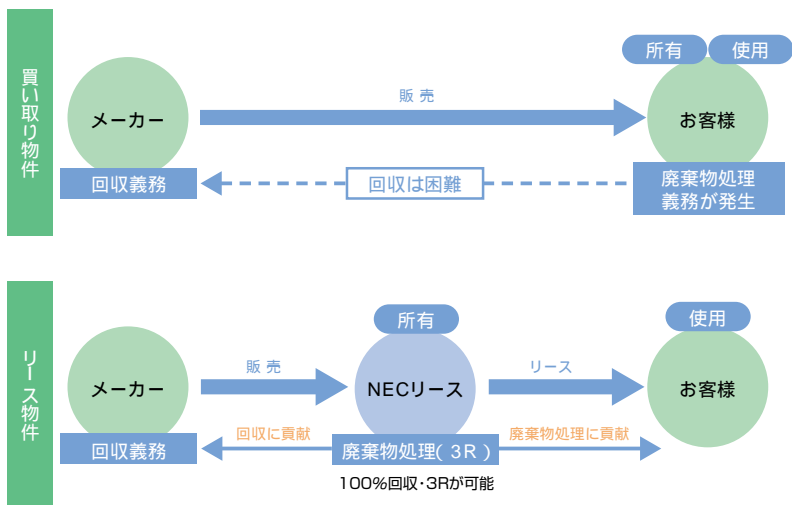
さらに、環境関連法規制の強化にともなう廃棄物処理・資源有効利用義務に対しても、NECリースは回収、適正処理、3Rまでをシステム化し、お客様の業務負荷の大幅な低減をお約束できるのです。

## 企業がリースを利用するメリット

- 1位 一度に多額の資金を必要としない(73.4%)
- 2位 リース料は経費処理ができる(65.6%)
- 3位 リース料は一定でコスト把握が容易(36.4%)
- 4位 物件の陳腐化に弾力的に対応できる(23.7%)
- 5位 経費削減で事務の省力化が図れる(22.5%)
- 6位 買い取りよりも一般的である(19.8%)
- 7位 物件廃棄の手間が省ける(17.1%)

～(社)リース事業協会の調査より

買い取り物件 / リース物件 比較フロー図



## TOPICS

### CSRという観点からのメリット

2001年4月の改正廃棄物処理法により、排出事業者への使用済み製品排出者責任が強化されました。また、資源有効利用促進法により、製造メーカーは製品の回収と3Rを義務付けられています。企業の社会的責任(CSR)という概念が浸透した中で、買い取り物件のリース化は、所有者と製造メーカー両者の負担を軽減し、コンプライアンスをサポートする役割も果たします。

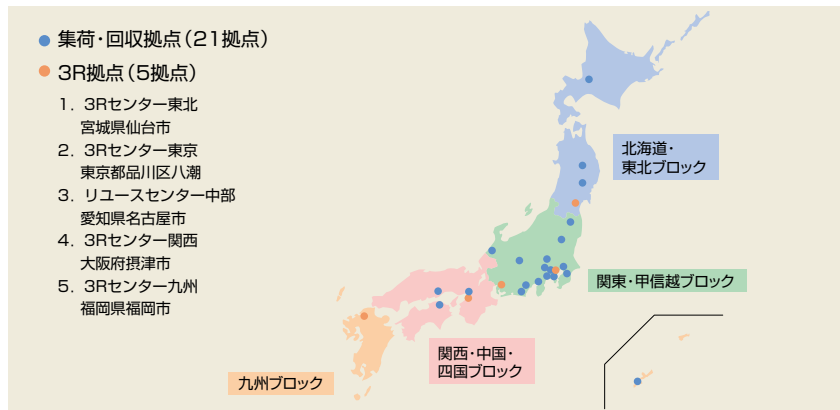
# NECリースの3Rシステムはどのように成り立っていますか？

NECリースの3Rシステムは、NECグループ国内63社の全国ネットワークによる連携で成り立っています。排出事業者であるNECが広域認定者の資格を有し、収集運搬のNECロジスティクス、部品リユースのNECフィールドイング、解体・リサイクル業者などで構成されています。

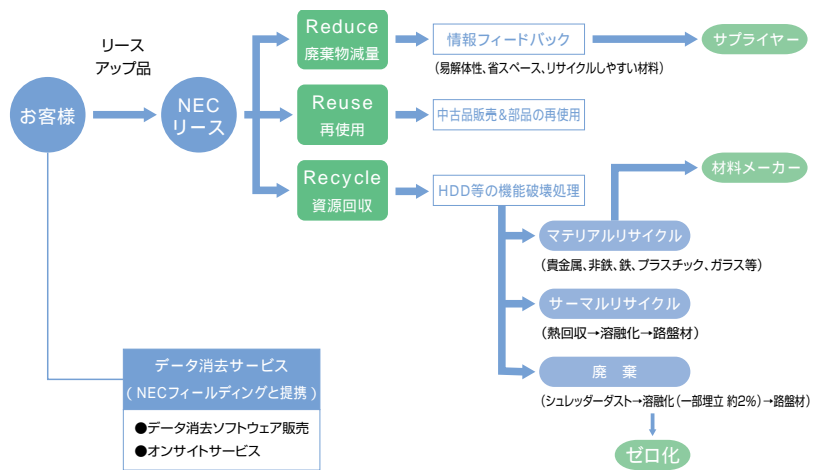
リースが満了した製品は、まず現物確認のためNECロジスティクスの集荷拠点に回収されます。そして、中古品販売にリユースされるもの、産業廃棄物としてマニフェストを発行するもの等により分類されるほか、解体に際する容易性などの情報がフィードバックされ、リデュースに活かされるのです。

この3Rシステムを活用して処理される製品はNECグループ全体で年間約1万トンで、その約3分の1がNECリースの取り扱うリース満了品です。

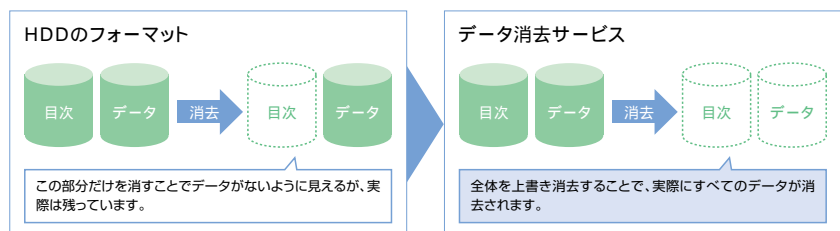
3Rシステム全国拠点分布地図



3Rシステムフロー図



データ消去サービス

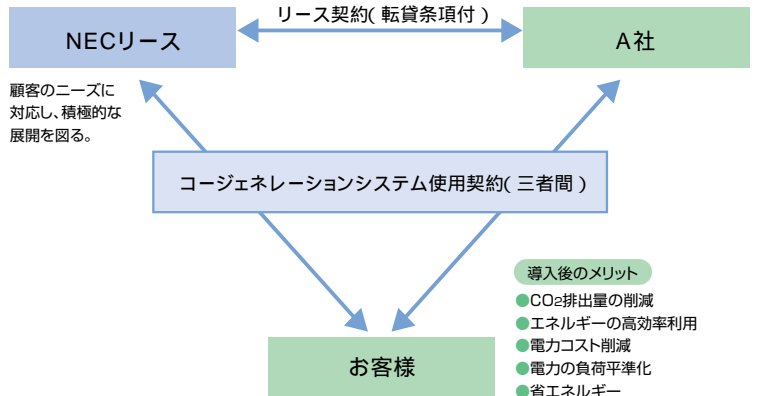


# エコビジネスで、NECリースの果たす役割は何ですか？

ここ数年、環境保全事業や循環型産業設備などが急速に成長・浸透し、ベンチャー企業の参入も多くなっています。こうしたエコビジネス全般に対し社会的ニーズが高まる一方、企業規模などの要因による資金面の制約や、長期金利上昇等の金融面の要因により設備投資へ慎重にならざるを得ないなど、多くの課題が生まれています。

私たちは、これらの問題を解決することが、リース業の社会的責務であると考えました。NECリースは、独自のアセスメント基準により多くのエコリース物件を認定し、それに対するサービス（ファイナンスリース・メンテナンスリース・割賦・ファクタリングなど）を提供することで、多くのエコビジネスを活性化させているのです。

エコリース事例( コージェネレーションシステムの導入 )



※コージェネレーションシステム：ガスタービンやガスエンジンなどで発電し、同時に発生する排熱を空調や給湯に利用するシステム

## エコリース物件登録実績 (2005年3月現在 118件)

### (1) 環境負荷を低減させる装置

公害防止装置等	大気汚染防止装置	エアリウムカウンター／オゾン殺菌脱臭システム／オゾン発生装置／他11件
	水質汚濁防止装置	汚水乾燥機／逆浸透膜フィルタ浄化式自動販売機／水門水質データベースサーバ／他3件
	ごみ処理装置	RDF製造プラント／医療廃棄物処理装置／ゴミ処理機／他11件
	騒音振動防止装置	コンプレッサー／油圧自動裁断機
	フロン排出抑制装置	フロンガススクリーニングシステム
省エネ型装置・技術システム	コージェネレーション	コージェネ発電機／自家用発電装置
	再資源化装置・技術	木くすの炭化施設／内蔵型循環濾過システム／冷却貯油タンク
自然エネルギーによる発電システム	新エネルギー発電装置	ハイブリッド発電システム
その他	その他	可動式水洗トイレヴィエツ／自動車リサイクルシステム／鉛フリー対応エアリーフロー装置／他17件

### (2) 環境への負荷の少ない製品

廃棄物のリサイクル・省資源化	ガラスカレット	ガラス瓶破砕機／ガラス粉碎システム
	再生プラスチック	再生可能ペットボトル製造設備／廃プラバレット製造設備／ペットボトル粉碎機
会社での省エネ機器等	住宅の断熱化	ムシクリアー(ガラスフィルム)
	省エネ家電製品	ガス吸着測定器／ガスヒートポンプ／省エネ装置／他3件
より環境への負荷の少ない商品	その他エコマーク製品	コピー機／パソコン／複合機／他1件
	木材を有効利用した木製品	木材トレー生産ライン
その他	その他	おからの肥料化設備／廃プラ油化装置／発泡スチロール減容機／他10件

### (3) 環境保全に資するサービス

環境アセスメント	環境アセスメント	携帯式騒音測定装置／イオンクロマトグラフ／蛍光X線分析装置／他1件
廃棄物処理・再生資源回収	廃棄物処理事業	車維新デジタコ対応システム／廃棄物管理システム
	再生資源回収事業	リサイクル家電システム
環境維持管理・環境コンサルタント	環境維持管理事業	窒素酸化物自動測定機／大気汚染監視システム／環境大気用一酸化炭素測定システム／他1件
情報型エコビジネス	環境情報システム	環境対策情報システム／IT-EMSシステム設備機器
その他	その他	水質情報収集システム

### (4) 社会基盤の整備技術・機器・システム

廃棄物処理施設等	廃棄物処理施設整備事業	焼却炉先端部分吹き付け工事／焼却炉用間仕切り工事／焼却炉用中和剤／他2件
省エネ・省資源型システム	省エネルギー施設・設備	地上波デジタル放送設備及び周辺設備
緑化・植林事業	屋上緑化	屋上緑化
	森林設備関連事業	プール洗浄機
水域環境回復事業	その他	クロマトバック
その他	その他	直接製版記録装置(CTP)／ADSL用設備(DSLAM)

# どのような業務効率化を行っているのですか？

NECリースは、自社ホームページに多機能を有するWEBサイト「Lease Manager」を連携させ、お客様に簡便で効率的なリース契約手続きの場を提供しています。

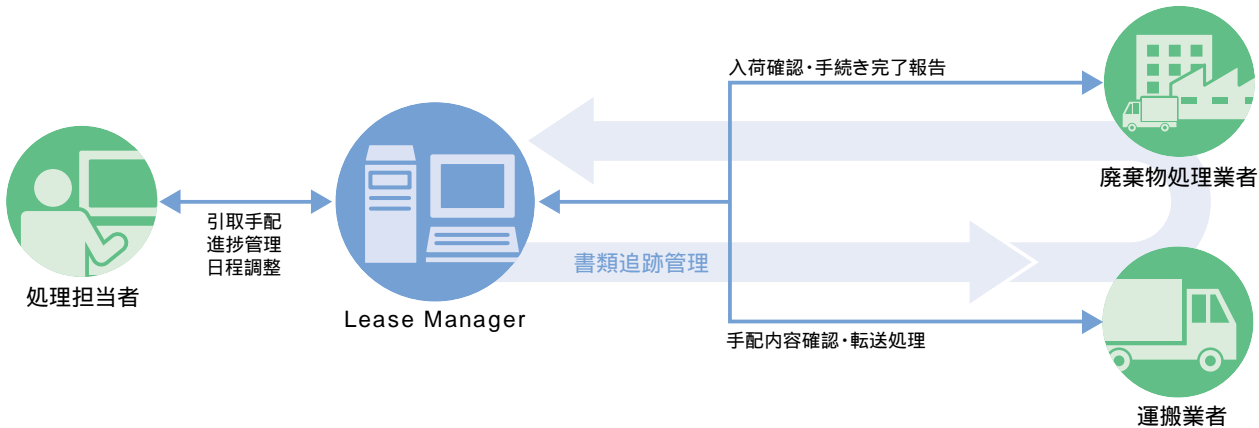
さらに、リース満了品の滞留日数というロスの削減を見直し、この「Lease Manager」による「休止資産管理システム」を運用しています。このシステムの活用により、リース満了品を迅速に処理することで、資源循環のスピード化を促進し、滞留日数を大幅に削減しました。

これら業務の効率化は、業務活動にともなうエネルギー使用量、CO<sub>2</sub>排出量を削減させるという点で、環境経営の重要な側面と考えています。



「Lease Manager」トップページ

## 休止資産管理システムフロー図



## 休止資産管理システム導入による効果

	導入前	導入による改善点	導入後
課題	休止資産処理進捗状況の把握と管理に多大な工数	休止資産処理進捗状況を一元管理	全社の休止資産処理進捗状況がリアルタイムで確認可能
課題	必要な情報が点在しており、客先交渉や引取依頼書作成に無駄な工数が多発	引取手配依頼書発行までのリードタイム短縮	必要な情報を集約提供し、客先交渉時の工数を削減
課題	改正廃棄物処理法・資源有効利用促進法等に則した、より高い精度の管理要求	運搬・廃棄物処理業者と連携したステータス管理	進捗状況の共有化により、管理精度が向上
処理日数	約1ヶ月	約50%短縮	約2週間

※休止資産とは、リース終了後の未処理物件のことをいいます。このシステムの導入により、大幅なペーパーレス化も実現しました。

## NECリースに寄せて

## 日本環境経営大賞「地域交流賞」を受賞しました

私どもの高校では、販売や企業経営実習を通じた教育を行っており、NECリース様には、本校「一商ショップ Re-Cubic」への中古パソコン提供など、様々なご協力をいただいています。その成果として、2005年3月に第3回日本環境経営大賞「地域交流賞」を受賞しました。今後は国際交流も含め活動範囲を広げ、法人独立をするモデルケースとしてNPO法人化も視野に入れています。これからも、ご協力とご指導をお願いします。



愛知県立一宮商業高等学校  
校長  
森 三喜男

# NECリースの企業理念はどのようなものですか？

NECリースは、「企業理念」イコール「環境理念」として、同じ表現で理念を表明しています。これは、私たちが創業以来、一貫して「環境経営」という視点に立ってきたことの証しでもあります。そして、この「環境理念」を実践する指針として「行動指針」を定め、リース事業を通じた循環型社会実現への貢献を推進しています。

これらのバックボーンには、NECグループ総体としての「環境経営ビジョン2010」があります。「ITソリューションの提供」による「環境と調和した持続可能な社会の実現」。この壮大なビジョンの一翼を担うものとして、私たちNECリースの事業活動があるのです。

## 環境理念 / 行動指針

### 環境理念

NECリースは、お客様の発展に貢献すべくリースを中心とした質の高い各種サービスを提供することにより、豊かな循環型社会の実現に向けて前進します。

### 行動指針

1. ① リースは循環型産業であり、お客様には物を所有せず機能に所有していただき、NECリースが責任を持って効率的に3R（リデュース、リユース、リサイクル）することをご提案し、買い取り物件のリース化を推進します。
- ② ファイナンスの面から、環境に配慮したリース商品（環境保全に資する装置、機器、エコマーク製品等）の販促を推進します。
- ③ ①②の基盤整備としてリース満了品の3R充実を図ります。
- ④ 業務効率化による省エネの推進を図ります。
2. 国及び地方自治体などの環境規制（特に循環型社会形成推進基本法に関するもの）、その他当社が同意する業界の規範、行政との協定、指針の要求事項を遵守するとともに、その他利害関係者の見解に配慮し循環型社会実現に向け環境マネジメントシステムの改善を図ります。
3. 従業員への環境教育・意識啓発を行い、従業員一人ひとりがリースは循環型産業との自覚を持ち、良き企業市民として行動し、社会に貢献します。
4. 開発した環境技術・管理ノウハウ及び環境方針は、従業員に周知するとともに利害関係者へ積極的に公開し、循環型社会の実現に貢献します。

平成16年7月6日制定

## 環境経営ビジョン

### 「環境経営ビジョン2010」

NECグループは、ITソリューションの提供を通して、社会システムの変革や、ビジネス・ライフスタイルの変革を促進し、環境と調和した持続可能な社会の実現に貢献し続ける「真のエクセレントカンパニー」を目指します。

- 全ての事業活動、全ての製品・サービスにおいて、資源循環の促進や再生可能な資源・エネルギーの導入等によって、高いレベルの環境配慮を徹底します。
- 社員ひとり一人が高いエコマインドを持ち、エコワーク、エコライフを実践します。
- 全てのITソリューションで、顧客や社会の環境負荷を低減し、資源生産性向上に貢献します。
- 地球環境の修復・蘇生に貢献することにより、地球的責任を果たします。

## TOPICS

### ITでCO<sub>2</sub>を削減する「IT、で、エコ」

NECグループは、ITソリューション提供によりCO<sub>2</sub>排出量削減を進め、事業活動で直接排出するCO<sub>2</sub>とNEC製品の利用でお客様が排出するCO<sub>2</sub>合計500万トン相当を、2010年までに削減することを目標としています。これにより、CO<sub>2</sub>排出量の実質「ゼロ」を実現しようという考え方が「環境経営ビジョン2010」の基本理念です。



# どのような体制で環境経営を行っているのですか？

NECリースは、業界に先駆けて1999年12月に本社地区で、2000年12月に営業拠点を含む全社でISO14001の認証登録を行いました。以来、このISO14001を全社的な環境経営システムの基軸と位置付け、PDCAサイクルにのっとって運用しています。

## NECリースのISO登録範囲



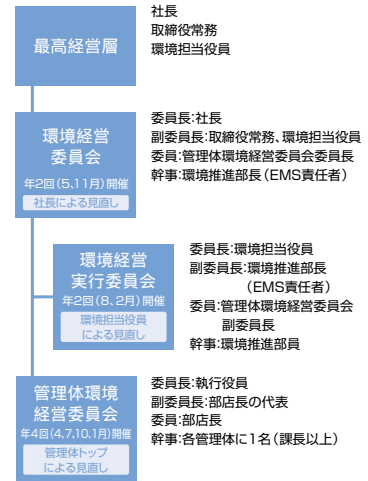
EMS Accreditation  
認定番号 RE005



JIS Q14001:1996  
認定番号 JSAE192

登録範囲：  
ファイナンスリース、メンテナンスリース、割賦販売、ファクタリング、融資及び集金代行のサービスにおける  
①買い取り物件のリース化  
②環境に配慮したリース商品（環境保全に対する装置、機器等）の開発・販促  
③リースアップ品の3R (Reduce、Reuse、Recycle) 促進  
④業務効率化による省エネの推進  
を推進するための環境マネジメントシステム

## 推進体制組織図と各々の役割



# 内部監査は、どのように行っていますか？

NECリースでは、2001年度から内部監査を「環境経営監査」と位置付け、環境経営レベルの確実な向上を継続的に図っています。

また、2003年度からは環境経営監査員養成のため、ISO14001審査員研修機関とのコラボレーションも行っています。



内部監査

## 2004年度監査結果

改善を要する点	対策
① 遵法性定期評価の変更手順で、各管理体が遵法性チェックを「どうやって」実施するかが明確ではない。	① 環境関連法令等要求事項登録規程に「遵法確認」の項目を追加し、管理体委員会にて「遵法確認表」に基づき確認するようになった。
② プログラムには目的・目標を達成するための手段（施策）と日程を具体的に記述しなければならないため、全社システムとしてプログラムの書式等を検討する必要がある。	② 環境目的・目標及び環境経営計画作成要領に、施策は各項目毎にできるだけ3つ以上のマイルストーンを入れ、経緯が分かるように記載すると明記している。しかし、管理体でバラツキがあるため、プログラムの記入方法について教育を実施した。

## NECリースに寄せて

## NECリースは「環境が本業」の企業

NECリースの内部監査に参加して、まず驚いたのが「環境理念が企業理念である」ことです。そして、企業における「環境への取り組み」は、往々にして紙ごみやエネルギー、有害物等の「環境負荷低減」に重点を置くものですが、NECリースは、本業の「環境価値増大」というユニークな取り組みを実践しています。社員の環境意識も高く、全社一丸となった取り組みが様々な高評価につながっているのだと考えます。



東京ガス株式会社  
環境部環境管理グループ  
担当副部長  
大木 祐一

# 取り組み目標はどのように設定していますか？

私たちNECリースは、資源・エネルギーの使用や廃棄物といった「環境側面」ではなく、「環境経営側面」における目的・目標を設定しています。環境性だけでなく、収益性、社会性、実行可能性、継続的改善性を加えた独自の評価手法で、事業活動の格付けを行い、お客様と社会への環境影響評価を割り出しました。

その結果、①買い取り物件のリース化、②エコリース商品の販促、③リース満了品のリユース率向上、④業務効率化による工数削減、以上の4項目を特定し、これらを環境経営の目的・目標に設定しています。

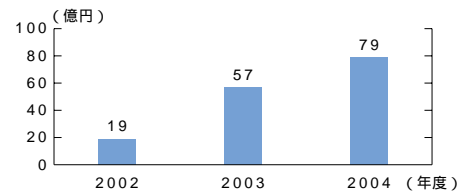
2004年度の実績と評価、2005年度の目標は以下のとおりです。

2004年度実績と2005年度目標

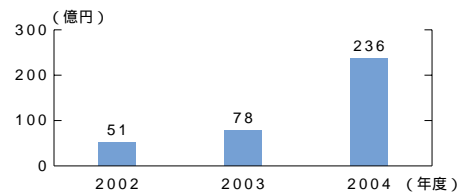
項目	2004年度			2005年度目標
	目標	実績	評価	
買い取り物件のリース化	770件	1,081件 (成約高79億円)	○	1,190件
エコリース商品の販促	10,250件	11,763件 (成約高236億円)	○	12,940件
リース満了品のリユース率向上	20%確保	23%確保	○	リース満了品の売却118百万円
業務効率化による工数削減	16,900時間削減	18,411時間削減	○	8,370時間削減
エコ助成資金調達				エコ資金活用40億円

成約高経年推移(2002~2004年度)

①買い取り物件のリース化



②エコリース商品の販促



# オフィスの省エネルギー活動はどうなっていますか？

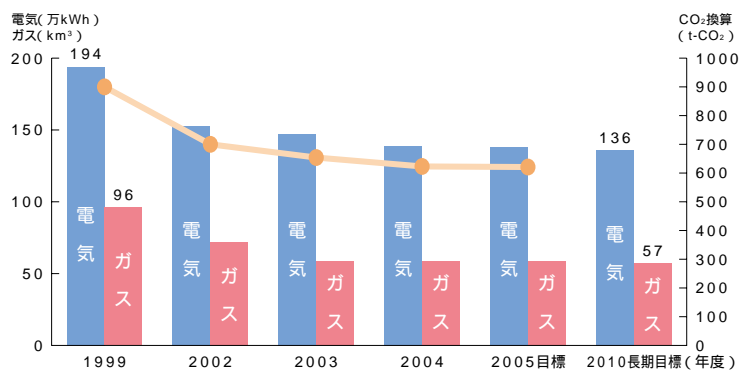
オフィス業務における省エネ・省資源活動も着実に積み重ね、実績をあげています。電気・ガス使用量、一般廃棄物排出量、事務用EDP用紙使用量などすべての項目で、1999年度を基準に2010年度達成の長期目標を定め、その削減に取り組んでいます。主な取り組み項目の過去4年間の経年推移と今後の目標は右記のとおりです。

※下記の項目については、既に目標レベルに達し、通常の環境活動で対応しています。詳細データについては、ホームページ(<http://www.nec-lease.co.jp>)をご覧ください。

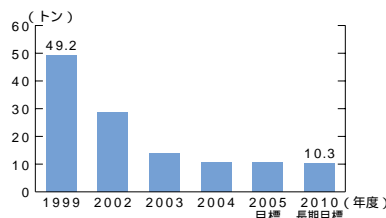
目標達成項目：  
産業廃棄物排出量、上水使用量、ガソリン使用量、再生紙購入率、古紙配合率、文房具グリーン購入率

経年推移と中長期目標

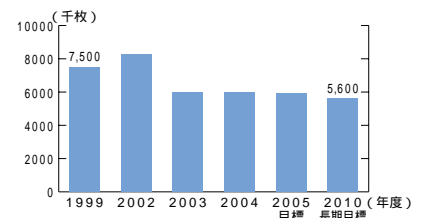
①電気・ガス使用量



②一般廃棄物排出量



③事務用EDP用紙使用量



# 環境経営の効果をどのように検証していますか？

環境省がガイドラインを定める環境会計により、事業活動の「環境側面」での効果を、一定の数値として把握することは可能です。NECリースも、これにのっとった環境保全コスト、環境保全効果、経済効果の集計を続けています。しかし、リース業は資源・エネルギーの使用量が大きな製造業と異なるため、私たちの環境経営の効果を検証するには不十分なものです。

NECリースの環境会計は、経理部が当社の事業活動であるエコリースに的を絞って、環境省の様式に準じた作成を行っています。リース事業による環境への貢献と企業の利益 (gross profit = 総利益) という経済効果の面から検証を行い、環境保全コストと環境保全効果を把握しています。

2004年度環境保全コスト

(単位：百万円)

分類	取り組み内容&効果	投資金額※1	費用額※2
事業エリア内コスト	公害防止コスト	汚染等各種公害防止	—
	地球環境保全コスト	温暖化防止、省エネルギー	—
	資源循環コスト	資源利用、廃棄物処理	—
上・下流コスト	①グリーン製品購入差額 ②リース資産回収、リサイクル、処理コスト ③エコ商品のリース取り引きにおける環境保全コスト ④その他リース取り引きにおける環境保全コスト	23,602	1,064
管理活動コスト	①ISO14001取得・維持管理コスト ②従業員への環境経営教育活動コスト ③環境推進部活動コスト ④本社・拠点などにおける自然保護・緑化等の環境改善対策コスト		
社会活動コスト	①地域環境改善対策及び環境活動支援コスト ②環境保全のための寄付、支援のためのコスト		
環境損傷対応コスト	①リース資産処分にもなう環境損傷コスト ②環境損傷修復コスト		
環境保全コスト合計		23,602	1,064

※1) 投資金額とはエコリース商品の物件価額であり、当社がリース事業を行うための設備投資と認識しています。  
 ※2) 費用額とは、エコ商品をリースに取り組み際に付随する費用(固定資産税・保険料・販管費)のことです。

2004年度環境保全効果

(単位：百万円)

効果の内容	環境保全効果を表す指標		効果額
	指標の分類	指標の値	
事業エリア内コストに対応する効果	事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー消費量の減少	用力費の削減額
	事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	ごみ、産廃物等の廃棄量の減少	清掃費の削減額
上・下流コストに対応する効果	事業活動から産出する財・サービスに関する効果	買い取り物件のリース化推進	営業部門申告の成約額の増分
		エコリース商品の販促	エコ商品の総売上額
		資産のリユース促進	中古品販売・再リース資産高
		ソフトウェアリース	ソフト単体成約額
その他の環境保全効果	IT化にともなう紙資源等の削減 その他	スタッフを中心とした環境保全活動	印刷費の減少や各部門の成果額
		資産の有効活用	リース資産の転用
		環境配慮への投資	グリーン製品購入
		地域社会貢献	地域との環境交流
環境保全効果合計			25,575

## TOPICS

### リースによる外部費用削減効果は約50億円

NECリースは、東京大学生産技術研究所のご協力をいただきLCA手法であるLIMEによる試算を行い、パソコンのリースによる環境負荷低減効果と外部費用削減効果を分析しました。その結果、日本における外部費用削減効果は約50億円、NECリースにおいては約1億円と試算され、リースによる「環境経営側面」の効果が実証されました。

# 循環型社会の一翼を担う 環境経営

ここ数年、環境報告書発行企業は大幅に増加し、「環境経営」という視点も定着したかに見受けられます。しかし、日本企業におけるそれは、ほとんどが「事業活動にともなう環境負荷の低減」という対処的、受動的な取り組みに終始しています。

NECリースはこの発想を大きく転換し、「自社の事業活動そのもので環境負荷を低減させる」能動的な環境経営を志しています。さらに、メーカー系リース会社として、NECグループの一員としてのメリットを活かし、環境関連法規制の強化にともなうユーザー・サプライヤー双方の負荷を軽減し、多くの取引先企業様の社会的責任遂行をサポートしています。

リース業だからこそできる社会への貢献。NECリースは、ここに確かなビジョンとミッションを抱いています。

私たちの志す環境経営が、循環型社会実現に向けた、大きな一翼を担うものであるために。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

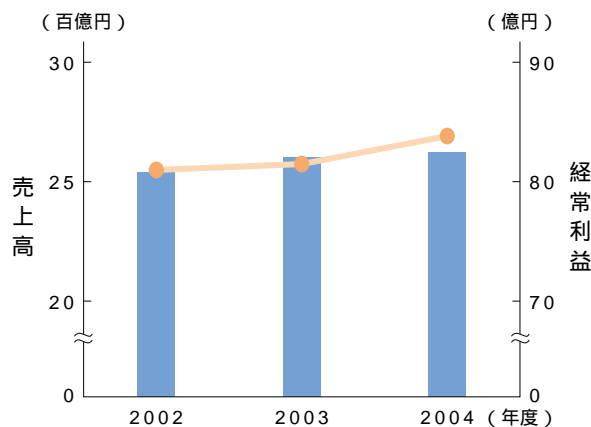


NECリース株式会社  
社長 加藤奉之

## 会社概要

商号/NECリース株式会社 (英文社名 NEC Leasing, Ltd.)  
本社所在地/〒108-0014  
東京都港区芝五丁目29番11号 (NEC住生ビル)  
TEL. 03-5476-5625  
創業/昭和53年11月30日  
決算期/3月 (年1回)  
資本金/払込資本金 37億7,688万円 (平成17年3月末現在)  
上場市場/東京証券取引所 市場第二部  
証券コード: 8793 株式略号: NECリース  
代表者/代表取締役社長 加藤 奉之  
従業員数/484名 (平成17年4月1日現在)  
事業内容/総合リース業  
情報関連機器、通信機器、事務用機器、  
産業用機械設備その他各種機器・設備等のリース、  
割賦及びファクタリング、融資、集金代行業務等  
主要株主/日本電気株式会社 住商リース株式会社 三井住友リース株式会社 住友信託銀行株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 住友生命保険相互会社 ほかに

## 財務データ



## 編集方針

リース事業そのものが循環型産業であるという考え方のもとに、事業活動を通じた環境貢献を意味する「環境経営」という観点からの報告書としています。報告対象範囲は以下のとおりです。

### 【開示範囲】

対象組織: 本社及び営業拠点  
対象期間: データは2004年4月1日~2005年3月31日の実績  
活動については直近のものを含む  
発行: 2005年6月17日 (次回発行2006年6月予定)

## NECリース株式会社

〒108-0014 東京都港区芝五丁目29番11号 (NEC住生ビル)

お問い合わせ先 環境推進部

TEL (03) 5476-8954

FAX (03) 5476-1689

URL <http://www.nec-lease.co.jp>



この報告書は、環境負荷の少ないアロマフリー「大豆油インキ」を使用し、印刷しています。